



日時	3月7日(土)
場所	東京都台東区(東京都美術館)
参加人数	24名(男性11名、女性9名、事務局4名)

● 活動内容



今回は、NPO任意団体「ワンダアートプロダクション」が、計400名(親子100組200名×2回公演)を招待して開催した「子どものためのワンダアートステージ」に協賛し、ボランティアスタッフとして参加しました。

会場となった東京都美術館では9時45分より開演準備を始めましたが、「童話の花束」のペン君が大きすぎて急遽控室を変更したり、館外の案内係が雨と寒さで大変であったり、ホール係は多数の来場者の方々に並んでいただくのに苦労するなどしましたが、公演時間までに準備を整えることができました。

また、客席中央付近に「童話の花束」のスペースを設け、パネルによる「童話の花束」の紹介を行いました。



11時から、NHK教育テレビ「できるかな」で活躍されたノッポさんによる1回目の公演が始まりました。1つ目のひとり芝居(注文の多い料理店)のあと、舞台と客席の交流のための時間が設けられ、ボランティアスタッフも壇上に上がりました。

MC(古家貴代美さん)との掛け合いの中で、JXグループや「童話の花束」の紹介が行われ、ボランティアスタッフが「童話の花束(その45)」の中から「いたずらまほうつかい」を朗読しました。その後の「親子のふれあい遊び(おんぶおばけちゃん)」でもボランティアスタッフが壇上に上がり、客席にいる親子は座席に座ったまま2人1組となって、一緒に楽しみました。

その後、ノッポさんによる2つ目のひとり芝居「狼森と笹森、盗森」が行われ、最後は会場の皆さんとノッポさん、MCのほか、ボランティアスタッフも加わって一緒に写真撮影を行いました。

出口ではボランティアスタッフが並んで、「童話の花束」や「ペン君グッズ」などが入った袋を子どもたちにプレゼントしました。

14時からの2回目の公演も1回目と同様でしたが、公演の最後にノッポさんが作った歌をみんなで手話で歌うことになり、ボランティアスタッフも一緒になって大変な盛況のうちに終了しました。

ボランティアスタッフからは、「子どもたちやグループの方々との交流が図れたのが嬉しい」、「JXグループ従業員がステージに上がったのは良かった」、「日本各地で同様な企画を展開してはどうか」といった声が出ていました。